News Release

平成３０年９月２７日

総務省地域経済循環創造事業交付金を活用した
株式会社齋彌酒造店への事業性評価融資の決定

株式会社秋田銀行（頭取　新谷明弘）は、株式会社齋彌酒造店（代表取締役　斎藤浩太郎、以下、「当社」という。）が実施する複合施設整備事業に対し、総務省地域経済循環創造事業交付金を活用した事業性評価融資を決定いたしました。

当社では、「発酵」をコンセプトにカフェ、ショップ、体験工房および製造施設を複合的に整備し、秋田県が推進する「あきた発酵ツーリズム（注）」の発信拠点を目指すこととしております。

本事業に対しては、当社がこれまで築いてきたブランド力を活用した誘客コンテンツの整備であることおよび本業の酒類製造・販売とのシナジーが認められることなどの事業性（市場優位性および事業継続性）を高く評価し、融資を決定しております。

当行は、今後も事業性評価融資およびコンサルティング機能を通じて、秋田県の観光振興に貢献してまいります。

（注）あきた発酵ツーリズム：情報発信、施設整備、周遊ルートの開発等の取組みを通じ、秋田県の多様な発酵食文化を秋田の風土に根ざすオリジナルの誘客コンテンツとして磨き上げ、県外や海外からの観光客数を増大させるとともに、発酵食品や酒類の商品数を拡大し、製品出荷額を向上させることを目的としている。

記

１　総務省地域経済循環創造事業交付金について

（1）　本交付金は、産学金官の連携により地域資源を活かした先進的で持続可能な事業に取り組む事業者に対し、初期投資費用の一部を総務省と自治体（注）が助成する制度です。

（注）今回のケースでは、秋田県が本事業への助成を決定しております。

（2）　採択要件として、地域経済の循環効果のほか、高い新規性・モデル性が求められています。

（3）　金融機関に対しては、無担保無保証の融資と併せ、事業キャッシュフローの継続的な把握によるコンサルティング機能の発揮が求められています。

２　支援対象事業について

事　業　名	由利本荘市における「あきた発酵ツーリズム」発信拠点整備事業
交付金額	２５百万円
融資予定額	３４百万円（取引店：本荘支店）
事業概要	○酒粕を利用した軽食メニューを提供するカフェ、発酵食品を販売するショップ、日本酒のオリジナルラベルの制作等を行う体験工房および甘酒や酒粕漬けの開発・製造施設を一体的に整備する。 ○飲食・物販・体験観光・見学の機能提供により、「あきた発酵ツーリズム」の牽引および由利本荘市における交流人口の拡大を目指す。

（以　上）

秋田銀行
地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える